

## 第6章 整備、支援に関する事項

本章では今後策定を予定している「緒方川と緒方盆地の農村景観整備計画」に関連する内容を取り上げる。

### 1 保存・活用につながる整備

#### ①自然環境保全のための注意喚起板の設置

- ・ジオパーク活動において取り組んでいる凝灰岩等の採集の防止対策を参考に、計画対象範囲内で生育、生息する植物の採集、農作物等に被害を与える鳥獣以外の動物の捕獲の禁止を促す注意喚起板を設置する。

#### ②人口減、高齢化等に対する体制支援及び物的支援

- ・集落における人口減、高齢化が進んだことにより、増加した耕作放棄地や休耕田、鳥獣害に対して、県が取組を進めている「小規模集落応援隊」の活用や農事組合法人の設立、単一自治区（行政区）から地域振興協議会（複数自治区の集合体）設立といった取組を支援し、併せて鳥獣害を防止する電気柵等の物的支援等を行う。

#### ③重要な構成要素に対する保存修理事業の活用及び普及啓発活動

- ・重要な構成要素の保存に関して、所有者等と連携を図りながら、必要に応じて国庫補助事業を活用しての財政的支援や、所有者、管理者等への個別の啓発活動、「文化的景観ニュース」といった啓発チラシを発行して、地域住民へ情報提供といった周知を図る。

#### ④絹さん人形の修復

- ・高度成長を遂げ、機械化が進む前の農家の暮らしを理解する上で欠かすことのできない人形群「絹さん人形」が老朽化していることから、修理・修繕を行い、市街地区域での展示案内ができる場所を確保する。農作業を復元した人形観覧を通じて農業を生業とする人々の生活を知る貴重な資料として活用する。

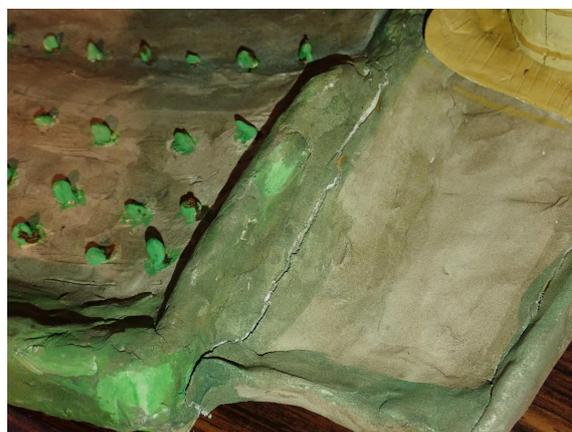


写真 73 ひび割れが目立つ絹さん人形

#### ⑤指定・登録文化財の修理・整備

指定・登録文化財の修理・整備にあたっては、各文化財の個別計画に基づき実施する。

- ・緒方宮迫東石仏・緒方宮迫西石仏（国指定史跡）は、保存修理が完了してから15年が経過し保存のための覆屋に部分的な老朽化が生じている。また、磨崖仏本体には着床植物の繁茂が確認される。関係機関と協議し、保存修理の対策を講じる。
- ・旧緒方村役場（国登録有形文化財）は、令和3年度に往時の姿に復旧する改修工事を実施し、今後は公文書等の保管施設として活用する。ただし、高台にあり緒方盆地を遠望するには絶

好の施設であるため、引き続き活用策について、検討を行う。

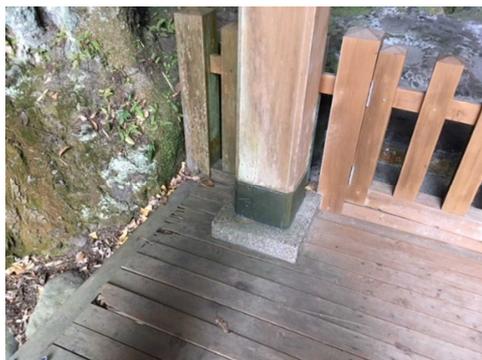


写真 74 緒方宮迫東石仏床板破損状況



写真 75 復元工事完成後の旧緒方村役場

## 2 対外的な PR のための整備

### ①視点場等の整備

- ・視点場（ビューポイント）を整備することは、対外的にも本景観に対する取組を強調できることにつながると捉え、景観の特徴が一目でわかる場所を選定し、整備する。なお、視点場については、すでにジオパーク活動の中で行ってきた経緯もあることから、統一性のある取組としたい。

### ②案内板等のサイン整備

- ・案内板等のサインは文化的景観を対外的に認識させ、また地域住民が意識して生活する上でも欠かせない設備であることは間違いない。これまでのジオパークの取組においても、ビジビリティ（視覚的な広報、宣伝活動）の重要性が求められてきたことから、地域住民、来訪者等に緒方川流域の自然環境、農の営みを通じた人々の生業や生活、歴史、重要な構成要素の価値を理解してもらうため、案内板や散策のためのサイン設置について、場所や形、大きさ、色合いなどのデザインが景観を損なわないことを含めて検討し、整備を行う。



写真 76 既存の案内板

### ③便益施設の整備

- ・ガイドツアー、フットパス、地区内散策等で来訪者が訪れることに対応するため、散策路、休憩所、トイレ等の便益施設の整備等を図る。

## 3 防災に関する整備

本計画対象範囲内では、これまでも豪雨に伴う河川の氾濫で、圃場や住宅への冠水、道路や橋梁、井路の決壊、流失等を経験し、その都度、復旧を行ってきた。

今後も復旧については、迅速な対応を図るとともに、県豊後大野土木事務所、市災害復旧担当

課と連携を図り、対処する。

なお、市では「防災ガイドブック」を全戸に配布しており、有事の際は、いち早い避難の呼びかけ等を行い、避難所の開設等を速やかに行っている。なお、指定避難所となっていた緒方公民館の老朽化に伴い、同じく老朽化していた豊後大野市緒方支所（旧緒方町役場）庁舎と併せた複合施設を新設した。新設された市緒方支所内には備蓄倉庫も設置し、有事に備えた対策を講じている。

また、集落沿いを流れる井路については、道路を走行する車両や歩行者が誤って井路に転落する事案も見受けられる。井路管理者や道路管理者等と連携を図り、転落防止策の設置など、管理者からの提案も含め、人命を尊重することを最優先に考え、今後、安全対策のための措置を講ずることを検討する。



写真 77 豊後大野市防災  
ガイドブック



写真 78 緒方支所内にある備蓄倉庫